

第3回県政ティーミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

(令和3年12月6日開催)

1 開催概要

- ・ 開催日 令和3年12月6日(月) 13:00~14:00
- ・ 会場 県庁3階 特別会議室
- ・ 参加グループ 寿台養護学校保護者有志
- ・ 懇談内容 旧中信松本病院跡地の活用について

2 参加者のご意見の概要とご意見に対する対応状況

(ご意見の概要)

- ・ 寿台養護学校は、老朽化、狭隘(きょうあい)化が課題となっているため、隣接する旧中信松本病院跡地を学校のために活用できないか。
- ・ 令和3年9月に国で「特別支援学校設置基準」が制定されたが、既存校へは努力義務とされただけでなく、保護者からすると基準自体も満足できるものではない。
- ・ 学びの改革の面では、専門性の高い指導支援を進めて欲しい。具体的には、応用行動分析の基礎を特別支援学校の先生がたに学んでもらいたい。
- ・ 子どもへの支援は、家庭と学校が同じ方向を向いて取り組む必要があるため、保護者と先生で話し合う機会があればありがたい。

(知事の発言)

- ・ 土地の所有者である国立病院機構に、活用したい意向を早く正式に伝えなくてはならない。
- ・ 特別支援学校の整備については、地域の状況や各校の児童生徒の障がいの状況、保護者の意見を踏まえ、本県独自の環境整備ができるような取組を考えたらどうか。
- ・ 教育の方法については、いろいろな方法がある中、各現場で創意工夫する必要がある。
- ・ 保護者と先生がフランクに意見交換できる環境を作った方がいい。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・ 寿台養護学校の狭隘化等に対応するため、旧中信松本病院から借用している土地・建物等を安定して活用できるよう、国立病院機構と相談を進めてまいりたい。
- ・ 特別支援学校の整備については、令和3年3月策定の「長野県特別支援学校整備基本方針」や国の設置基準を踏まえるとともに、保護者等関係者の意見を聞きながら、必要性の高い学校から順次個別計画を策定し、整備を進めてまいりたい。
- ・ 専門性の向上に関しては、これまで増員してきた自立活動担当教員を中心とする専門性サポートチームの機能強化を図り、個々の児童生徒の教育的ニーズに寄り添う教育を行うよう、各校の担任の指導支援力の向上を図ってまいりたい。
- ・ 保護者と教員が話す機会を各校において工夫して設けるよう取り組んでまいりたい。

【担当：教育委員会特別支援教育課】

内容に関する問い合わせ先

企画振興部 広報県民課 県民の声係
電 話 026-235-7110
F A X 026-235-7026
E-mail koho@pref.nagano.lg.jp